

# 伊勢湾貧酸素情報（第1報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

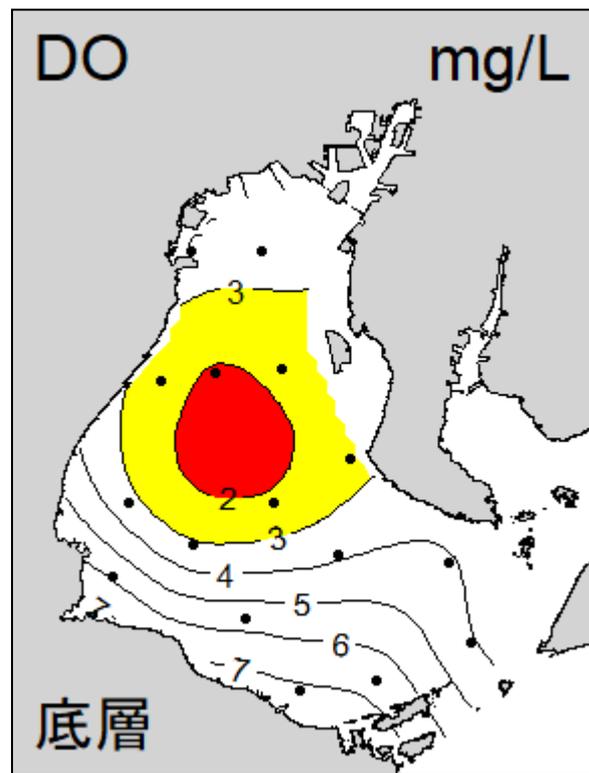
伊勢湾の底層では海水中の溶存酸素濃度の低下が始まり、湾中央部の底層において2mg/L以下の貧酸素水塊が形成されています。

## 6月8日の調査結果

6月8日の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で20.2～22.5℃、10mで18.2～20.4℃、底層で15.1～20.1℃の範囲にあり、表層は平年並み、10mは平年よりやや高め、底層は平年並みとなっていました。

DO（溶存酸素濃度）は表層で7.00～7.82 mg/L、10mで2.76～7.42mg/L、底層で1.24～7.28 mg/Lの範囲にあり、表層は平年よりやや低め、10mは平年並み、底層はやや低めとなっており、底層には湾中央部において2 mg/L以下の貧酸素水塊が形成されていました。

今後水温の上昇などに伴って、底層の貧酸素水塊が拡大すると予想されますので、貧酸素水塊の動向を注視する必要があります。



底層貧酸素水塊分布図